

(仮称)豊富町定住支援センターの整備について

定住支援センター整備に係る

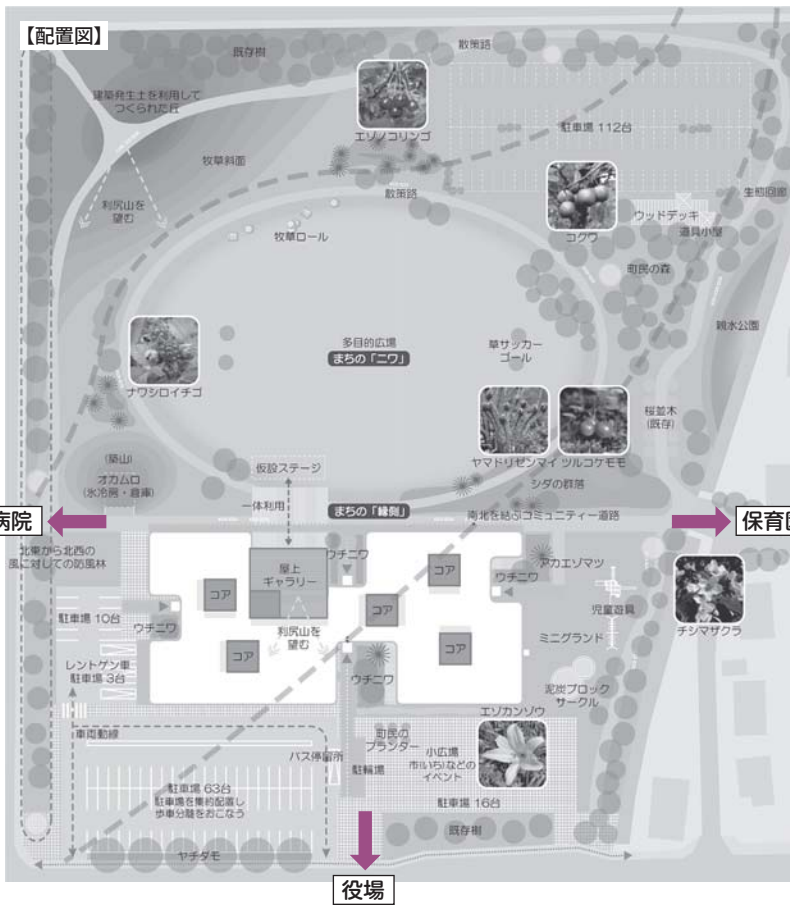
設計プロポーザルを実施し

設計者を選定しました。

(仮称)豊富町定住支援センター基本実施設計業務にかかる設計者の選定は、広く優れた設計者から、的確かつ独創的な提案を頂くため、公募型による設計プロポーザル^{※1}を実施しました。

6月8日に公募したところ、道内13の設計事務所から参加表明があり、プロポーザル選定委員会において、6月27日の第1次審査、8月3日の第2次審査を経て、最優秀者として、株式会社アトリエブランクの提案を選定しました。

今後は、同社と設計業務委託契約締結を進め、この提案を基本として、施設を利用される方や関係団体、役場内の関係各課の代表などによる設計協議会を設置して、協議をおこないながら具体的な設計を固め、年度内に設計を完了する予定です。



換気モードの例

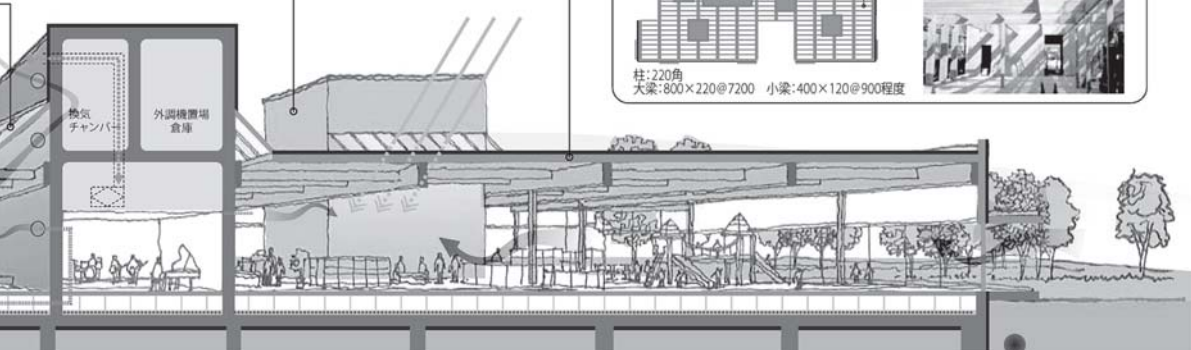
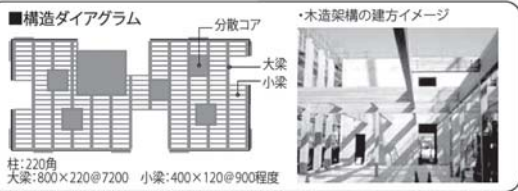
	給気	排気
中期	クールチューブ	自然
夏	クールチューブ 水冷扇	自然
冬	クールチューブ	ファン

分散コアによる地震力負担

- 地震力を負担、木造の部材軽減
- 開放的な木造空間をつくる

地場木材の構造利用

- 地場木材(トドマツなどの集成材)加工



※1 プロポーザル = 設計の提案 ※2 タイムテーブル = 時間割り ※3 フレキシブル = 柔軟性のある

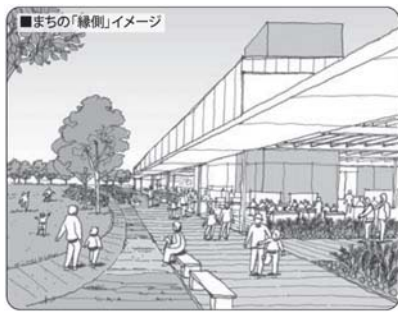
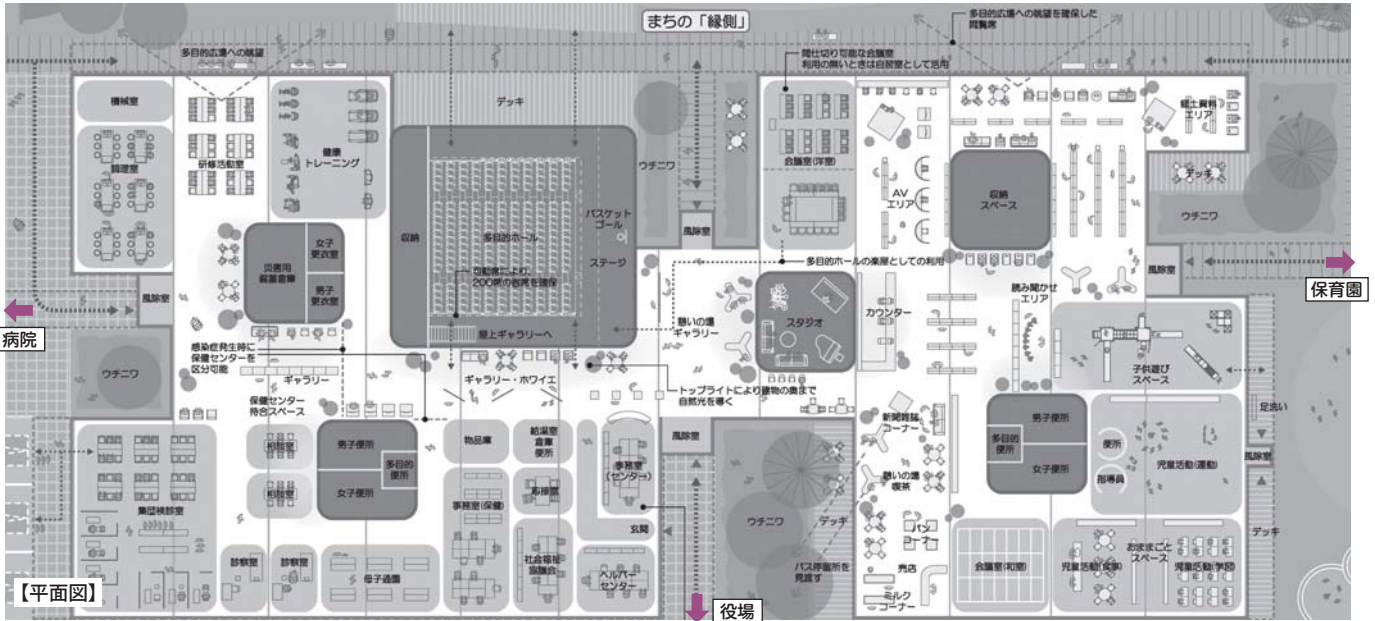
《提案書の抜粋》

多様な居場所をつくる平面計画

- ①廊下をつくらない一体空間、活動面積の増加
- ②ウチ庭と分散コアによる多様な空間
- ③たくさん居場所

複合化のメリットを生かす手法

- ①タイムテーブル※2による活動領域の拡張
- ②フレキシブル※3な一体空間



■経過
平成23年6月3日(金) プロポーザル選定委員会 (第1回)

8日(水) 公募開始

21日(火) 参加表明書提出期限

27日(月) プロポーザル選定委員会 (第2回)

7月25日(月) 技術提案書提出期限

8月3日(水) プロポーザル選定委員会 (第3回)

8月 技術提案ヒアリングを実施
2次審査・最優秀者、次点者を選定

1次審査・7社を選定し、技術提案書の提出を要請

小さなまち／大きな家
みんなが集まって賑わいが生まれる「小さなまち」、他の人の活動を感じながら一人になれる「大きな家」。いつでも気楽に立ち寄ることができる居心地のいい居場所をつくります。

開放的な木造建築

コンクリートコアを併用し地場木材を利用した開放的な空間をつくります。理解しやすい簡素な技術を用い、ハード・ソフト両面において持続可能なシステムを構築します。

■面積あたりの消費エネルギー(ランニングコスト)削減の目標値
様々な自然エネルギー利用の手法を活用することで、暖房、照明、換気・空調エネルギーを削減します。その結果、北海道内の標準的な施設に比べ面積当たり約15%のランニングコスト削減を果たします。

北海道の標準的な施設(仮称)	暖房	照明・換気・空調
豊富町定住支援センター		約15%減

■珪藻土の活用
・外部は珪藻土カラー塗装

■高断熱・高气密化
・外壁：外張り断熱／木下地による外断熱
・トリプルガラスによる高断熱化

■自然エネルギーを導く分散コア
・蓄熱体としての放射効果
・ドラフトによる自然換気
・屋根ガラスによる自然光利用

